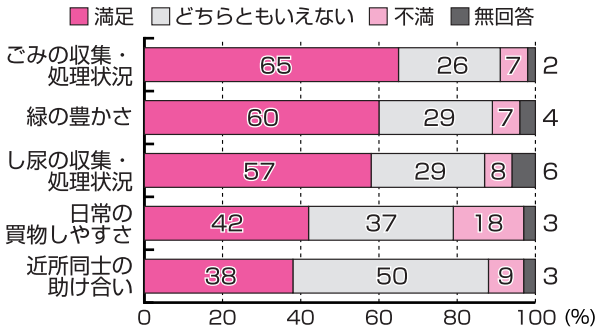
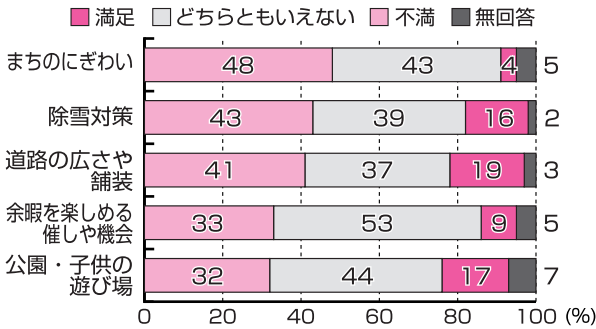


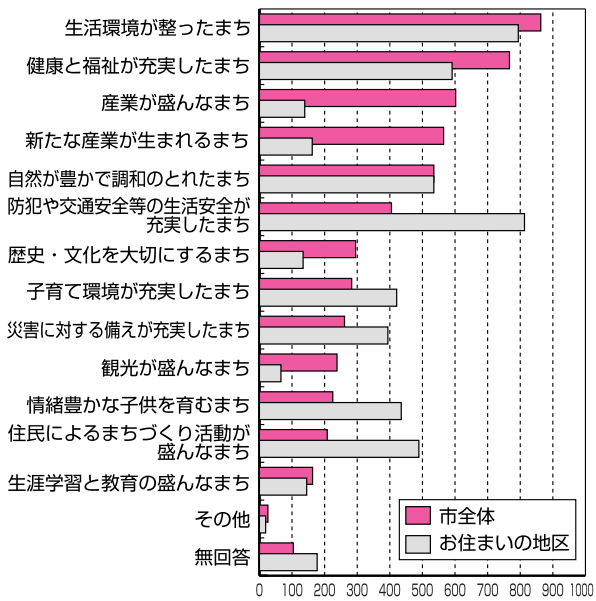
満足の割合が多かった5項目



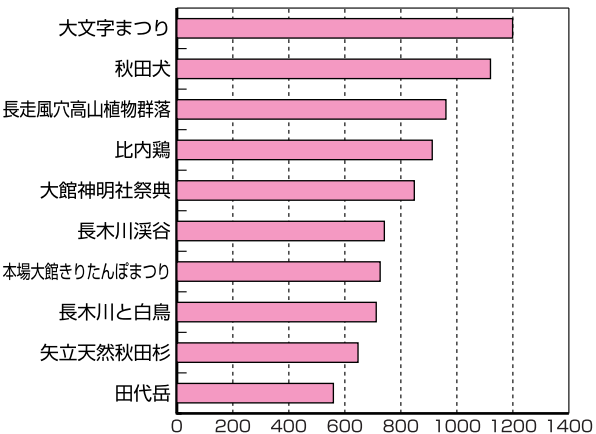
不満の割合が多かった5項目



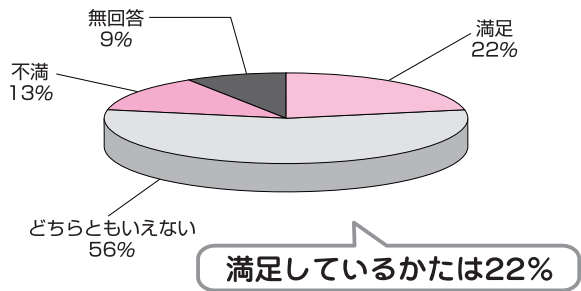
20年後に期待するまちのイメージ



市を代表する(自慢出来る)景色や文化



地区の暮らしやすさ(総合的な評価)



「ごみ・し尿の収集」は満足、「まちのにぎわい」は不満

地区の暮らしやすさを尋ねた27項目のうち、満足の割合が多かったものと不満の割合が多かったもの、それぞれ5つを取り上げました。

ごみ・し尿の「収集・処理状況」にはおおむね満足しているようですが、「まちのにぎわい」「余暇を楽しめる催しや機会」では、不満が多く、もともとまちがにぎやかになり、市内で催しなどを楽しみたいと考えているかたが多いようです。

また、道路や下水道などの生活基盤整備を期待する意見も目立ちました。

20年後に期待するまちの姿 自慢出来る景色や文化

期待するまちのイメージは「生活環境が整ったまち」

20年後に期待するまちのイメージでは、生活環境の整備に期待する意見が多く見られました。次に「健康と福祉が充実したまち」、「産業が盛んなまち」への期待が高いことが分かりました。

今後は、道路や公園・下水道などの整備と、福祉の充実、産業が盛んな活気あふれるまちを目指し、計画づくりを進めていきます。

一方、地区に期待するのは「防犯や交通安全等の生活安全が充実したまち」や「情緒豊かな子供を育むまち」です。

少子高齢社会を迎え、これまでに以上に充実した子育て環境や防犯・交通安全などの生活安全の確保、高齢者に優しい環境づくりなど、生活に密着した部分の充実を考えていきます。

自慢出来るのは市を代表する(自慢出来る)景色や文化の上位10項目は左のようになりました。

まつりや、豊かな自然、天然記念物などが、自慢出来るものと考えられているようです。

これらは、市のシンボルであり、後世に伝えていく「地域の宝」として生かしていく必要があります。

このアンケートの結果を参考に、皆さんが期待するまちを目指し、ワークショップ(勉強会)や策定委員会で、「将来のまちづくり計画(都市計画マスタープラン)」を作成していきます。